

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 野村 紀夫

よそお
山 粧 う

- 審議議案 9月定例会・10月臨時会について…………… 2～4
- 一般質問 9人の議員が質問 …………… 5～11
- 議会日誌 …………… 12

9月定例会

9月定例会を9月8日から9月17日まで開催しました。令和2年度の各会計決算認定をはじめ、条例案件3件、契約案件1件、予算案2件、新規計画策定に関する案件1件、その他案件1件が提案されたほか、報告3件、発議1件がありました。提出された議案のうち、各会計の決算認定については決算特別委員会へ、新規計画策定に関する案件1件、条例案件2件は総務建設常任委員会へそれぞれ付託し、慎重に審議した結果、全ての議案を原案通り可決しました。

補正予算

(一般会計第3号)

追加補正予算額

1億8730万円

主な補正予算の内容

例規整備支援業務委託料

220万円

個人情報保護制度に
関係する法律が一元化
されたことに伴い、町
の個人情報保護条例を
はじめとした関係例規
の整備を、専門業者に
委託するものです。
Q 作業にかかる期間
は？
A 国の動向をみなが
ら、令和5年4月の施
行に向けて実施してい
く。

単独県費土地改良事業 補助金

310万円

県の補助事業を活用
し、小豆島町土地改良区
および安田三五郎池土
地改良区が実施する、貯
水槽整備や水路整備に
対する補助金です。

公営・改良住宅修繕費

993万円

経年劣化により外壁
をはじめとした多くの
修繕箇所が見られるた
め、必要な修繕を行う
ものです。

小豆島中学校体育館 空調設備整備事業費

8910万円

コロナ禍における大
規模災害に備え、停電
時や天候不良時でもガ
スで発電できる「ガス
ヒートポンプ式」のエ
アコンと非常用発電機
を整備し、避難所環境
を高めるものです。
Q 整備後の使用方法
は？



大規模災害に備える

A 学校体育の授業、休
日のイベント等でも使
用できると考えている。
Q 電気エアコンとの料
金差は？
A 設置工事費用が安
く、使用料も年間10
0万円ほど安いと見込
んでいる。

Q 各小学校体育館への
設置は？
A 今後の検討課題とし
たい。

滞納整理システム導入 委託料

660万円

電算システムの改修
に伴い、納税相談や徴
収率の向上を目的に導
入するものです。
Q システムの維持費用
は？
A 改修後、毎月約22万
円かかる。

ドライブレコーダー設 置補助金

120万円

今後多数の補助申
請が見込まれることか
ら、予算を増額するも
のです。



手延そうめん館 麺分け 機修繕費

193万円

自動麺分け機の電子
制御盤、表示器の修繕
を行うものです。

浜条地区防火水槽新設 事業費

584万円

防火水槽の製造費用
が高騰していること
や、工事を行うにあ
たって重機等の仮設進
入路が必要なことから、
設計費と工事費を
増額するものです。

テレワーク拠点施設整 備事業費

1500万円

国庫補助金を活用
し、小豆島ふるさと村
のワインハウスをテレ
ワーク拠点施設とする
ため、施設利用予約、入
退場管理のシステムの
導入や監視カメラの設
置など拠点施設に必要
な整備を行うための事
業費です。

Q 施設整備内容は？
A ワインハウス北側の
一部を改修し、コワー
キングスペース、We
b会議用の個室やミー
ティングルームを設け
る。



ワインハウス改修後のイメージ図

物品購入契約

自動封入封緘機能付高速カラー印刷機購入事業

●相手方

(株)金子事務器

●契約金額

803万円

行政事務の効率化と経費節減を図ることを目的に、新しく購入するものです。

Q印刷機の仕組みと効果は？

A文書等の印刷と、封筒への封入を一括してできる。従来の印刷機では、カラーコピー1枚10円、50枚印刷に1分程度要するが、新しい印刷機の導入後は、1枚1・5円程度、1分間で160枚印刷できるなど、費用面、効率面においてメリットがある。



条例の一部改正

小豆島町過疎地域自立促進特別事業基金条例

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、条例の名称を変更するなどの字句整備を行いました。

議員発議

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、地方創生、雇用対策、防災・減災対策などの社会保障への対応に多額の財源不足が見込まれることから、国へ地方財源の充実を求める意見書を提出することとしました。

財政健全化法に基づき報告

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、介護保険施設事業の資金不足比率について、全ての値において健全な状態であると報告されました。

町の収入に対する借金返済額の比率である実質公債費比率が0・7ポイント悪化の6・8%となっており、主な要因は、町役場庁舎等の再編にあたり発行した合併特例債の元金償還が始まり、公債費が増となったことによるものです。

※合併特例債：合併した市町村が、新しいまちづくりに必要な事業を行うための財源として、借入れができる地方債のこと。

決算特別委員会

決算特別委員会とは、議会に提出された町の1年間の「歳入歳出決算」について、その審査をするために設置された特別委員会です。9月10日～9月15日にかけて慎重に審査し、次の意見を付して認定しました。

1. 中山地区棚田活性化事業について、棚田を保全し、後世に継承していくため、棚田の現状を再検証し、事業内容を再検討されたい。

【農林水産課】

2. 高齢者等買い物支援事業について、民間業者も同様の事業を実施しており、補助金の支出が公平性に欠けていると思われるので、事業内容を再検討されたい。

【商工観光課】

3. 通院困難者支援事業、オリーブヘルスケアシステム事業および認知症見守りシステム事業等の高齢者施策について、現状や費用対効果を検証し、事業内容を再検討されたい。

【高齢者福祉課】

4. 奨学資金貸付事業について、貸付金返還金の未納額が増加傾向にあるので、適正な管理を行い、未納者の減少に努められたい。

【こども教育課】

5. 会計年度任用職員(スクールバス運転手)について、なり手不足の現状を踏まえ、業務内容に応じた報酬額の見直しを検討されたい。

【こども教育課】



提案された新しい条例などの3議案について、詳細な審査をするため、9月15日に総務建設常任委員会を開催し、審査を行いました。付託された議案は、次の通りです。

●小豆島町過疎地域持続的発展計画の策定

町の持続的発展を図るため、過疎対策事業に対する各種財政上の支援措置を受けることを目的に計画を策定するものです。

●小豆島町の議会の議員および長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

公職選挙法の改正に伴い、候補者の選挙運動に係る経費の負担軽減や立候補の機会均等のため、新たに条例を制定し選挙公営制度を拡大するものです。

●小豆島町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例

製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業における設備の取得や改修をした場合に固定資産税を3年間減免することができるものです。



臨時会

第2回臨時会を10月12日に開催しました。

報告2件、契約案件2件、予算案件1件が提案され、全ての議案を原案通り可決しました。

審議した主な議案

工事請負契約

小豆島中学校体育館空調設備整備工事

●相手方

(株)香川設備

●契約金額

8265万4千円

植松都市下水路2号雨水幹線新設工事

●相手方

(有)大和建設

●契約金額

9295万円

9月定例会 一般質問

今期定例会の一般質問を9月8日に行い、9人が登壇しました。一般質問とは、議員が町民の代表として町政全般にわたって、事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明や報告を求めるものです。

はまぐち いさむ
浜口 勇 (5 P)

- ・昭和49年災と51年災の犠牲者名の名入慰霊碑の建立を

やすい のぶゆき
安井 信之 (5 P)

- ・町施策の刷新を

しばた はつこ
柴田 初子 (6 P)

- ・ヤングケアラーの現状把握と支援は
- ・運転免許証返納支援のさらなる拡充を

なかまつ かずひこ
中松 和彦 (6 P)

- ・労働者確保に伴う環境整備を
- ・若者に故郷を実感させるためには

もり たかし
森 崇 (7 P)

- ・「イクボス宣言」の効果は
- ・「航路も道路でしょう」の言葉の意味と私たちの移動について
- ・通学路の安全対策は

もりぐち ひさお
森口 久士 (8 P)

- ・幼保・小学校の再編計画は
- ・社会体育施設等の方向性は
- ・池田港の駐車場と町有地は

おおした あつし
大下 淳 (9 P)

- ・町道「大峠線」の修復は
- ・公共施設に車いすの配置を
- ・島外につながる交通インフラの整備を

なべたに まゆみ
鍋谷 真由美 (10 P)

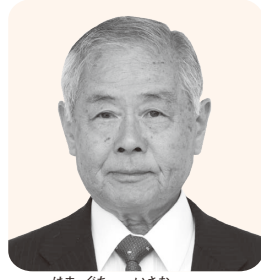
- ・新型コロナウイルス感染症対策は
- ・土砂災害の防止対策は
- ・学校給食に有機農産物を

おおかわ しんや
大川 新也 (11 P)

- ・小学校通学路危険箇所の現状と対策は
- ・危険な用水路の把握と対策は
- ・来春の町長選挙への出馬意向は

昭和49年災と51年災の犠牲者名の名入慰霊碑の建立を

町「過去の大災害の教訓を次代へ伝承していく」



議員 濱口 勇

その覚悟を持ち続けてもらうきっかけに、64人の名入り慰霊碑を人目につきやすいところに建立しては。

町施策の刷新を

町「先進的な事例を研究し、人口減少を緩やかにする施策に取り組む」



議員 安井 信之

人口の減少が続いている。今後は、先進的な事例を研究し、すくすく子育て応援アクションプランの見直しや、予算編成等を通じて新たな施策に取り組み、人口減少を少しでも緩やかにしていきたい。

も食堂をしている団体もある。学校給食費の無償化なども考えてみては。

【質問】人口の確保が一番重要なことであり、あらゆる面で町の発展、維持につながる。

【質問】先進的な施策も、時がたてば普通の施策になり、新たな施策を講じる必要性があると考えるが。

【質問】民法改正に伴う奨学金制度の対応は。

【質問】現在、奨学金の規定で、未成年への貸付時は法定代理人を連帯保証人とするよう定めている。民法改正後、法定代理人以外の人でも連帯保証人にする事ができる。

【質問】事業団体と持続可能な活動にするための話し合いをした。町としても、貧困世帯への応援というのは非常に大事だと考えており、連携しながら取り組んでいきたい。給食費の無償化は、今後、子育て支援の面からできるか検討し、可能であれば実施したい。

【質問】町施策のPRは。

【質問】日本一の子育ての町を目指す方向は変わっていない。今後ともPR活動は進めていきたい。

【質問】内海総合運動公園には「やすらぎの塔」、谷尻海岸には復旧工事完了と犠牲者を悼む碑があるが、町職員や町民は訪れる機会が少ない。2回の大災害から、まもなく50年になる。南海地震は必ず近いうちに起こるといわれているが、自然災害は昼夜を問わず、いつ起こるのか予測ができない。

【質問】小豆島町で64人が犠牲となった大災害を遠い記憶にするのではなく、次代へ伝承する重要性は認識している。災害土砂で埋め立てた内海総合運動公園に「やすらぎの塔」を建立し、内部の石室に霊標を安置し、犠牲者の御霊を慰め、平和で豊かな郷土をつくる願いを込めている。



昭和51年の台風17号により土石流が発生（竹生地区）

【質問】令和2年度の移住者数は、新型コロナウイルスの影響により、令和元年度と比べ19人の減となっている。また、令和2年度の国勢調査人口の速報値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を300人程度上回ったものの、

【再質問】貧困世帯の把握が少し遅れていると思う。現在島内で子ども



柴田 初子 議員

ヤングケアラーの現状把握と支援は

町「体制の強化に努めたい」

どの設置についての考えは。

教師に相談しやすい環境づくり、また教職員

の理解が一番重要だと考え、この件についても、講師を迎えて、研修に努めたい。

【質問】 ヤングケアラーとは、本来家族にケアを要する場合に、大人が担うと想定されるような家事や家族の介護などを行っている18歳未満の子どもを指す。

その現状把握と支援について、国は「支援に向けプロジェクトを立ち上げ、学校や地域などで早期発見して支援につながる体制を強化する」とあるが、町内のヤングケアラーの実態把握と相談窓口な

【答弁】 本町における現状は、今のところ学校現場、児童虐待、福祉サービスに関わる事例は把握していない。効果的な相談窓口の設置について研究してまいりたい。学校現場を中心に、ケアを必要とする家族に関わりのある医療、介護、福祉等の専門職との連携により、ヤングケアラーの早期発見、早期支援ができるよう、体制の強



運転免許証返納支援のさらなる拡充を

町「まずはオリーブバスの利用促進」

【質問】 運転免許証返納支援のさらなる拡充で、介護タクシーなどにも利用できないか。

難者支援事業の補助金額や対象範囲の拡充等で検討したい。

34・2%が、バスの回数券とタクシー助成券・セットを選択され

ており大変好評である。自主返納支援については、まずはオリーブバスの利用促進という大きな目的がある。

【答弁】 小豆島町通院困

労働者確保に伴う環境整備を

町「企業との契約は制度上できないが、個人としての契約は可能」

個人としての契約は可能



中松 和彦 議員

【質問】 雇用促進住宅に外国人労働者入居の申し込みをしたが、受け付けられなかったと聞いたが、その理由は。

【答弁】 外国籍であっても入居は可能であるが、企業としての申し

込みであったため、制度上、受け付けできなかった。企業が社宅として使いたい場合は、空き家バンク制度を活用してもらいたい。

若者に故郷を実感させるためには

町「小豆島中央高校と連携し、本年度より取り組んでいく」

本年度より取り組んでいく

【質問】 開催できなかった「はたちのつどい」は、今後どうするのか。

【答弁】 現時点では、さまざまな状況を鑑み、令和3年度の成人式の前日である令和4年1月8日が候補日になると考えている。

という市民協働推進プロジェクトが行われている。女子高生が主体となり、非常に自由な雰囲気の中、地域と連携して自分たちの町を楽しみながら活動していると思う。若者たちが「ふるさと」を知り、距離感を縮めていくという観点からの施策が必要では。

【再質問】 福井県鯖江市では「鯖江市JK課」

【答弁】 これまでも小豆島中央高校と連携し地域との協働による取り組みを模索してきた。同校では、本年より「権風」と称して、町行政を学びながら、地域の課題に向き合うことを始めている。グループに分かれ「小豆島をよりよくする」をテーマに、来春には発表会を行う予定だ。

「イクボス宣言」の効果は 町「職場の環境づくりは進んでいる」



議員 森 更子

は。
また、町のラスパイレシ指数は。

【質問】平成29年6月、育児を後押しする研修会に町内企業から、約80人が参加していた。講師は「働き方を変えることが職場や小豆島を守ることになる」と提案。小豆島町からは課長級以上が参加し、「部下が家庭生活と仕事を両立することに努める」と宣言した。

また、今年8月の新聞には人事院の提言「働き方改革、人材確保、妊娠、出産、育児と仕事の両立」とあるが、省庁の幹部は深夜まで働き、土日出勤もいとわれないとも書かれていた。町職員の実態

【答弁】「共に働く職員の仕事のワーク・ライフ・バランスを応援しながら成果を出し、自らも仕事と生活を楽しみむイクボスとなる」ことを目指している。仕事と家庭生活を両立できる環境づくりが大切であり、現在、女性職員の育児休業取得率は100%である。また、産前休暇を2週間延長するなど、職場の環境づくりは進んでいると考えている。

また、国家公務員を100とした場合の地方公務員の給与水準であるラスパイレシ指数は、小豆島町は94.8%であり、県内で下から2番目である。

「航路も道路でしよう」の言葉の意味と 私たちの移動について

町「地域がつながり、人々の移動や物流に欠かせないと認識している」

【質問】昔の人の移動は

歩くしかなかったが、今では鉄道・高速道・橋梁また空にはジェットと便利になったが、海上は今でも船に頼るしかない。細田衆議院議員が国会で「航路も道路でしよう」と発言されたのを町はどう思っているのか。

鹿児島島の十島村には「汽船も亦道なり」の石碑があり、国交省

に「離島にも道路財源を」と意見書を出している。高齢化率が高くなった今、航路の大切さは、以前より数段高くなっていると思うが。

【答弁】人々の移動手段は発展し、多様化している。細田議員の発言は、航路も道路と同じように地域がつながっており、人々の移動や物流に欠かすことがで

きないものと認識している。6つの航路は島の発展に重要で、港の機能の維持管理、全ての港の活性化を目指していく。

また現在、土庄町と地域公共交通計画の新たな策定を行っているが、メンバーには四国運輸局職員や香川県交通政策課の職員も参画しており、航路の重要性を訴えていく。



運航休止後、半年が経過したが...

通学路の安全対策は

町「空き家対策補助の充実などを要望していく」

【質問】千葉県の通学路の交通事故や大阪府の地震でブロック塀が倒れ、子供が亡くなったことは忘れられない。

安田小学校近くの通学

路には、危険な空き家もあるが、対策は進んでいるか。

【答弁】現実には理解しているが、現行の制度で

絡会の動向に注視し、補助要件の充実など議題に挙げてもらうよう要望していく。

は住宅以外の倉庫や工場などは補助の対象外となっており、現状では難しい。時間がたつほど深刻になることから香川県空き家対策連

幼保・小学校の再編計画は

町「もう少し時間を頂いて方向性を決めたい」



もりぐち けんじ 議員

町「もう少し時間を頂いて方向性を決めたい」
 校の方向性を決める段階で併せて判断したい。

【再質問】令和2年度に出生数が58人、仮に統合に3〜4年かかるとなると、地元協議にも時間がかかるのでは。

【質問】令和8年度に、苗羽小学校の児童数が80人を割る。関係者と議論し、時間をかけて検討し、結論を出したいということであったが、幼保・小学校共に統廃合の方向性は。

【答弁】教育担当の副町長の頃から、特に地域の核となる小学校は残したい思いがあり、デジタルを活用した方向にはできないか、検討したい。

【再質問】老朽化する校舎の問題など財政を考えると、人数が減り、集団生活に問題があれば、統合という選択肢もあるのでは。保護者を含めた意見は。

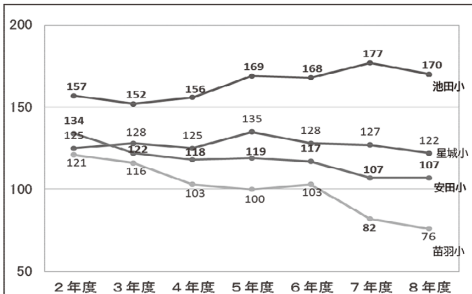
【答弁】複数学年で1学級15人以下となると、学習面で一部の教科では指導が難しくなる。また、集団生活から学ぶコミュニケーション能力の育成への影響を懸念している。

【答弁】子どもたちにとってどういう教育が望ましいか様々な角度から協議して方向性を

決めたい。

【再質問】先送りと取れるような答弁だが、どういう議論をしてきたのか。

【答弁】町内で不公平のない、バランスの取れた教育を実施することについて教育委員会で議論を進めてきた。児童数も大きな議論になると思うので、状況も見ながら、もう少し時間を頂いて方向性を決めたい。



小学校別児童数の推移 (R2.10.1調査時点)

社会体育施設等の方向性は

町「利用者の意見を聞き、

施設ごとに方向性を示したい」

【質問】社会体育施設等のあり方検討会を設置し、施設ごとの長寿命化計画に基づき、存続・廃止を含め、それぞれの施設のあり方を検討とのことだが、現状は。

【答弁】文部科学省が示す施設の維持を前提とした今後の施設のあり方の方針により、施設を建築後80年まで長寿命化する施設ごとの老朽度、利用状況、人口や収入、コスト等をま

池田港の駐車場と町有地は町「表示看板を設置するなどに対応する」

【質問】①町有地の建設残土は景観の面でもよくない。土地の貸し付けはいつまでの契約か。②池田産直横の駐車場内でトラブルもある。コロナの影響が少なくないと駐車場が不足すると予想されるが、対応は。

【答弁】①利用者のマナーによるが、臨時駐車場へ誘導する表示看板を設置し、不足する場合は臨時駐車場を拡張する方法で対応したい。

【再質問】長期間駐車している車の対応は。

【答弁】①本年9月末までが1件、残り2件は来年3月末まで、申請により毎年更新している。



池田港臨時駐車場



おおした あつし 議員
大下 淳

町道「大峠線」の修復は

町「8月に発注済み

来年度も工事を続ける」

【質問】 二面から丸山につながる町道「大峠線」が長年の風雨で傷み、一部、車の通行が不可である。



洗掘された大峠線

【答弁】 農業用ため池は重要な施設である。雨による洗掘で通行に支障が出ていることから8月に工事を発注したところである。

来年度においても横断溝や路盤工、コンクリート舗装などの整備を行う予定である。

島外につながる交通インフラの整備を

町「まずは産業の振興から」

【質問】 小豆島の人口は減り続けている。今は小豆島全体で2万6千人と少し。平成初期の4万人から1万3千人以上減少している。また令和2年度の町内の出生数は58人で、過疎化、少子高齢化が顕著である。

【答弁】 この原因は小豆島が離島であるためと言えらる。小豆島くらいの規模を持つ島々で、「空港もなければ橋やトンネルもない、さらには24時間フェリーもない」というのは、恐らく日本で小豆島だけである。

島外への通勤や通学、病院は大変ではないか。若い人にとって島外に住む方が楽だと考えてしまうのではないかと思う。

全国で交通網の整備が進み、今では岡山・鹿児島間が3時間程度で結ばれている。東京・



海底トンネル

【答弁】 交通アクセスは本来に必要な不可欠であるが、橋が架かれれば人が吸い出されるストローク現象の面もある。

人口減少対策の基本は働く場の確保であると考えるところから産業の振興に注力していきたい。また、島を愛する気持ちの醸成も大切であると考える。

公共施設に車いすの配置を

町「可能な限りの配置をしていきたい」

いて現状はどうか。

【質問】 公共施設を利用する高齢者は多いと思われる。役場庁舎は改修でききれいになったが、広過ぎるくらいで足腰の弱い人にとっては不安が生じているのではないか。

足腰に不安のある人のためにも車いすが必要になるが、配置につ

【答弁】 安心して来庁できるような環境の整備や配慮が必要である。現状は公共施設全体の23%程度に車いすが配置されている。各施設に必要な数を適宜配置してまいりたい。

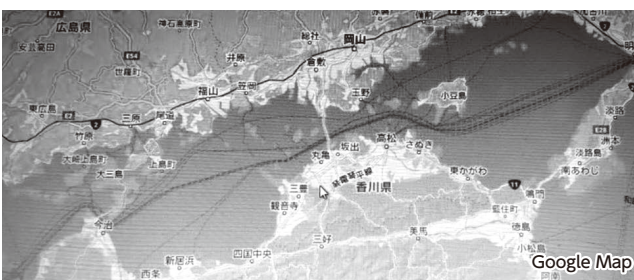


本館に配置された車いす

青森間も日帰り圏内である。また、陸続きの東京湾でもアクアトンネルが開通している。

こんな社会から小豆島はどんどん遅れようとしている。国は国土の均衡ある発展を目指しているはずであるが、このままでは限りなく無人島に近づいていくのではないか。

香川や岡山は目と鼻の先にある。島外への交通アクセスの必要性をどう考えているのか。



離島のまま…



なべたに まゆみ 議員
鍋谷 真由美

新型コロナ感染症対策は

町「基本的な感染対策の徹底を図る」

CR検査拡大、十分な補償と医療機関支援などをさらに強化すべきだ。

また、子どもへの感染が広がる中で新学期を迎える学校の対応は。

より感染力が強いデルタ株の感染拡大の中で、命を守るためにP

あり、9月末には、ワクチン2回接種者は1万900人、約83%、希望者の接種はおおむね完了する予定である。一人一人の基本的な感染対策の徹底が最大の医療機関の負担軽減につながる。大規模検査に対応する医療従事者確保は非常に困難であり、ワクチン接種とPCR検査等は、県

と町が役割分担したい。8月下旬、小学校で2人の陽性者が確認されたが、夏休み中で大きな影響はなかった。3密の回避、手洗い、換気、マスク着用の徹底、登校時の検温結果の確認および健康状態の把握など文部科学省の衛生管理マニュアルに沿った対応を順守する。

学校給食に有機農産物を

町「町内で確保でき、課題がクリアできれば使用したい」

子どもの食物アレルギーや発達障害などの症状の急増傾向に歯止めをかけるとして、学校給食の食材を有機農産物にしようという運動が全国で広がっている。有機農業の実態はどうか。有機農家を支援、有機農業を推進し、学校給食に有機農産物を活用してもらいたい。

生産者は、2事業者で、一者がオリーブ、もう一者がオリーブとかんきつ類である。環境に配慮した農業生産方式で水稲栽培している団体で、収穫された米の一部は学校給食に使用している。

土砂災害の防止対策は

町「町内に大規模盛り土はない」

静岡県熱海市で7月に発生した大規模土石流被害の原因が「盛り土」だった可能性が強まり、全国各地の盛り土の安全対策が問われているが、町内の盛り土の実態は。

内海ダムの残土が置かれていることに不安の声がある。また、町内に設置された太陽光発電についてはどうか。

本町では大規模

な盛り土を行った開発は確認されていない。内海ダム再開発事業の残土の一部は、ダム上流の東側と下流に盛り土を施工、基準に基づき問題はないと県から説明を受けている。

太陽光発電施設は、普及促進を目的に導入された規制緩和で、防災上の問題点が指摘されても違法とは言えず、市町村には指導権限も与えられていない。

従来から地産地消に努めてきたので、有機農産物も島外からではなく、町内で必要な食材を確保でき、衛生面や価格面での課題がクリアできれば使用したい。

有機農産物の有機JAS認証を受けている



おいしくて安心な給食に

小学校通学路危険箇所の現状と対策は

町「安全性確保に努めるよう取り組み」



おおかわ しんや 議員
大川 新也

いるが、考えは。

【答弁】新聞アンケート提出後、文科省から安全点検実施の通知があり、35カ所が増えた。

今後危険箇所については、危険を解消する対策について関係機関と協議し、安全性確保に努めるよう取り組む。また学校においては、交通安全教室や集団下校等行い、交通安全教育を徹底し、未然防止に努める。

スクールバスの件については、現時点ではその内容について詳細な通知がない。今後導入の制度設計が示されれば必要な検討を行う。星城小の問題点は道路幅員が狭小で、片側1車線が取れない状況であることから、電柱の移設等を協議しているが、まだ結論は出ていない。

危険な用水路の把握と対策は

町「必要な事故防止対策を講じる」

【質問】3月、県は用水路等転落防止対策ガイドラインを策定し、過去5年間に用水路への転落事故での消防の出動件数が1836件、年間300件を超して発生とある。島内でも46件発生とあった。

県はこれを参考に、各施設管理者がそれぞれの現場現状に応じた効果的、効率的な転落事故防止対策に取り組み、連携して転落死亡

事故ゼロを目指したいとある。

町内でも危険な用水路等も多く見受けられ、溝・河川も多くある。町として把握できているのか。その対策は。

【答弁】本町での転落事故は30件あり、町管理の施設12件について現地調査を行い、ハード対策を行う。

今後、このガイドラインを参考に用水路転



危険な通学路



危険な用水路

来春の町長選挙への出馬意向は

町「選挙に出馬し、引き続き舵取り役を担いたい」

【質問】平成30年4月、多くの町民から支持を受けて町長に就任し、「人が集い、元気な町」を目指し、3年5カ月が経過した。

しかし、直近の2年近く未曾有のコロナ禍の中、町政運営に大きく影響があり、停滞し

たのも仕方のない状況と思える。収束にはまだ時間を要すると考えられるが、町政運営は待ったなしだ。

そこで来春の町長選挙への出馬の意向は。

【答弁】「人が集い、元気な町」を目指し、5

本柱に基づき町政運営を進めている。行財政改革の推進、懸案の一般廃棄物最終処分場の整備や防災・減災対策等順調に進捗している。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大が町政運営に悪影響を与えており、人口減少など多くの課題が山積しており、ポストコロナを見据えた政策展開が重要だ。熟慮の結果、来春の町長選挙へ出馬し、引き続き町政の舵取り役を担わせていただきたい。

【質問】6月に千葉県での小学生通学路死亡事故を受け、四国新聞が実施した市町アンケートで県内公立小学校151校中、危険箇所1101カ所、当町は4校で20カ所発表された。そのうち、9割超が何らかの安全対策をしているとのこと。

課題として歩道整備や道路拡幅などハード対策は、用地や予算の確保が難しいとある。

また、この事故を受け、町は「スクールバスを全国展開」と打ち出した。一例として星城小からザグザグ間

香川県広報発行町議会 連絡協議会研修会

7月20日、香川県広報発行町議会連絡協議会が主催する研修会に参加しました。

日本広報協会広報アドバイザーの吉村潔氏から「読みたくなる議会だよりのつくり方」と題したご講演をいただき、議会広報は情報発信だけでなく、住民とのコミュニケーションとしての役割があり、議会を身近に感じてもらう工夫が必要であるということ学びました。

また、見やすい字体の紹介があり、今回の議会だよりから、使用する字体を変更しました。



議会活性化特別委員会

8月4日と9月15日に、議会活性化特別委員会を開催しました。

議員報酬や定数、議会の情報発信の方法、9月議会における決算特別委員会の審査方法などについて協議を行いました。

また、今年度の議会報告会の開催についても協議しましたが、報告会の内容の再検討を行う必要があることや、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、今回の開催は中止することとしました。



議会 日誌

7月～9月までの主な議会活動についてお知らせします。

9 月				8 月				7 月											
29日	27日	17日	15日	14日	13日	10日	8日	1日	30日	26日	24日	4日	30日	29日	27日	20日	9日	8日	6日
小豆地区広域行政事務組合議会定例会	小豆島中央病院企業団議会定例会	第3回定例会（2日目）	総務建設常任委員会 議会活性化特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	第3回定例会（1日目）	議会運営委員会	総務建設常任委員会	小豆郡町議会議長会定例会	香川県村議会議長会定例会	議会活性化特別委員会	香川県村議会議長会監事会	香川県離島振興市町村議会議長会臨時総会および研修会	香川県後期高齢者医療広域連合臨時議会定例会および研修会	香川県広報発行町議会連絡協議会	広報編集特別委員会	小豆島中央病院企業団議会臨時会	広報編集特別委員会

編集後記

まだまだ、収束見通せないコロナ禍の限られた日常生活は、計り知れない重厚な閉塞感をもたらしましたが、急速な予防接種率の向上、また、新たなワクチン開発等、一筋の光明も見受けられます。

季節感の乏しい日々の流れではありますが、いつからか、世界につながる澄んだ空は、秋の色。

その中の小さな存在の、人、一人ひとりではありますが、今一度、感染予防には心がけ、迎える年の瀬、新春こそは、懐かしい人々と、久方の再会を果たしたいものです。

森 弘章 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp